

組織変更のお知らせ

株式会社ダイセル（本社：大阪市北区、代表取締役社長：榊 康裕）は、2030年度に向けた長期ビジョン「DAICEL VISION 4.0」の実現のための道筋として、現中期戦略「Accelerate 2025」を実行してまいりました。2026年度は、次期中期戦略の開始や当社グループであるポリプラスチックス株式会社との経営統合を予定しており、企業価値向上や収益最大化に向けた施策をさらに強化・加速する所存です。これら施策の実現のため、2026年4月1日付けで以下の組織変更を行います。

■役員室の設置

秘書機能をより強化し、役員の業務を専門的な立場から補佐するべく、事業支援本部 秘書グループを事業支援本部から独立させ、役員室として設置します。

■LS インキュベーション室の設置

次世代育成領域の一つであるライフサイエンス系の研究テーマについて、市場・顧客のニーズに対し、社内の横断的な情報を集約しテーマの選択と集中を加速させ、上市に向けた自由度高くスピード感をもった計画・実行を推進し、成長牽引事業へのシフトを加速させるべく、社長直轄組織として設置します。

■生産技術本部の設置

成長牽引領域の飛躍的な成長、次世代育成領域の早期事業化の目途づけ、事業と投資の選択と集中の徹底と採算性改善を推進するため、生産技術本部を設置し、生産本部が担っていた、既存事業の競争力強化・新規事業創出に向けた生産技術の工業化に関わる機能を移管します。

また同本部にて各工場の工業化機能を横串連携する役割も承継し、引き続き全体最適を図ります。

■ハイパフォーマンスポリマーズ SBU、および、富士工場の設置

2026年4月1日付けでのポリプラスチックス株式会社との経営統合によるシナジーおよび収益最大化を進めるべく、ポリプラスチックス株式会社に属する事業を当社に吸収し、各 SBU と並列にハイパフォーマンスポリマーズ SBU を設置し事業活動を実施します。

また、ポリプラスチックス株式会社が有するコーポレート機能については、コーポレート部門の徹底した効率化と事業貢献を進めるため、当社の各コーポレート部門に統合します。

さらに、当社の各工場と並列に富士工場を設置し、他工場との横串連携を加速させるとともに、ハイパフォーマンスポリマーズ SBU とも連携し、事業責任を明確にした体制による効率的運営を推進します。

なお、ハイパフォーマンスポリマーズ SBU の設置に伴いパフォーマンスマテリアルズ本部を解消します。



■ヘルスケア SBU からマテリアル SBU、ライフサイエンス SBU への事業移管

次世代育成領域の早期事業化の目途づけ、成長牽引領域の飛躍的な成長を進めるべく、ヘルスケア SBU をマテリアル SBU とライフサイエンス SBU へ移管し、推進効率を高め、新テーマ創出等、事業のさらなる成長加速を目指します。

具体的には、コスメ事業をマテリアル SBU へ移管し、両 SBU が有する酢酸セルロース材料の開発・事業展開におけるシナジー創出等による相乗効果を狙います。

また、健康食品事業をライフサイエンス SBU へ移管し、SBU のリソース活用の相乗効果によるアイデア創出や、健康食品素材の海外展開加速を図ります。

なお、本移管に伴いヘルスケア SBU を解消します。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ダイセル

事業支援本部コーポレートコミュニケーショングループ

TEL : 03-6711-8121

E-mail : public_relations2@jp.daicel.com